

Combi

コンビ チャイルドシート ジョイトリップ シリーズ

取扱説明書 品質保証書付

- お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくお使いください。
- 74ページの品質保証書に、必要事項をご記入ください。
- 本書は、座面のシートカバー裏側のポケットに保管してください。
(5ページ参照)



本製品は、UN R44/04において認可された商品です。

- 汎用型(ユニバーサル)：質量グループ1,2,3
- お子さまの体重：9kg以上～36kg以下の幼児・学童用
- 本製品はUN R16または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り適しています。
- 弊社の「取付確認 車種リスト」をご確認のうえ、ご使用ください。

お使いいただく前に

組み立て
背もたれの取り付け
(17ページ参照)

チャイルドモードの
使いかた

ジュニアモードの
使いかた

ブースターモードの
使いかた

チャイルドモードへの
戻しかた

お手入れのしかた

保管 / 廃棄
品質保証書
お問い合わせ先

ご 案 内

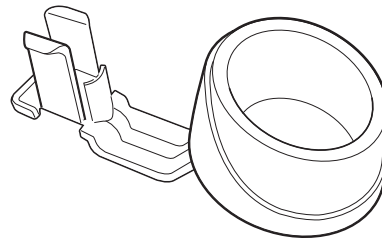
このたびは、コンビ製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本製品は特別仕様のため、製品名と下記の仕様を変更させていただいております。

製 品 名 : ジョイトリップ エアスルー GG EN
ベ ー ス 機 種 : ジョイトリップ シリーズ
変 更 内 容 : ドリンクホルダーを追加

特別仕様のため、変更内容の取り扱いについては本紙をご参照ください。その他の取り扱い方法はベース機種と共通となります。本紙が貼り付けてある取扱説明書をご参照ください。また、お問い合わせの際は本紙記載の製品名をお伝えください。

各部のなまえ

ドリンクホルダー



コンビ株式会社

裏面につづく➡

ドリンクホルダーの取り付けと使いかた

ドリンクホルダーは、座面の左右どちらでも取り付けることができます。



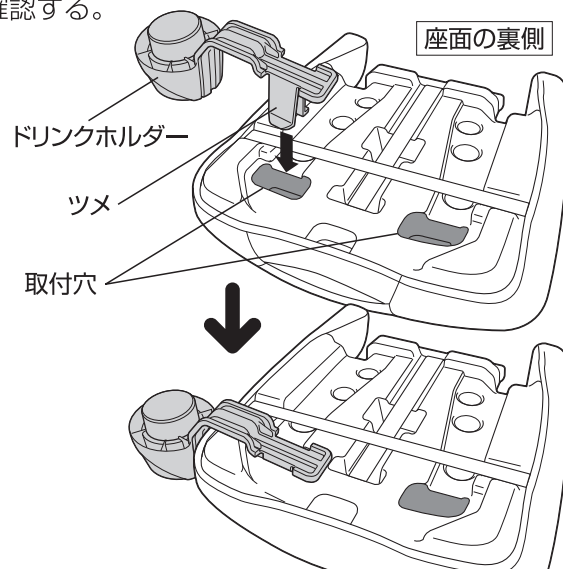
- ドリンクホルダーに熱い飲みものを入れないでください。ヤケドをするおそれがあります。
- シフトブレーキやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けしないでください。



- ドリンクホルダーが車のドアなどにぶつかる場合は、反対側に取り付けなおしてください。
- お子さまがドリンクホルダーに体重をかけないようにご注意ください。破損するおそれがあります。
- ドリンクホルダーはすべてのドリンクサイズに適応しているわけではありません。ドリンクホルダー内の飲みものが安定していることを確認の上、ご使用ください。

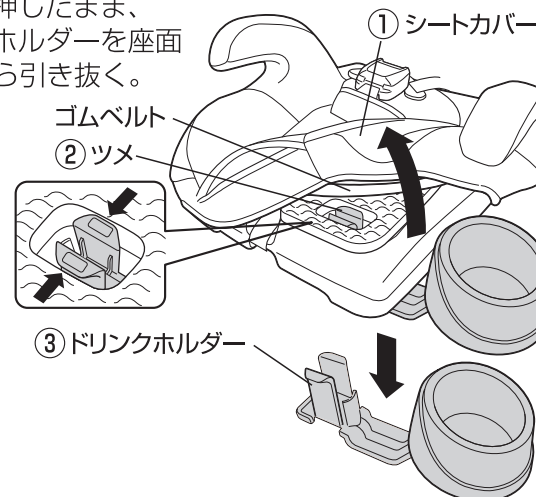
ドリンクホルダーの取り付け

- ① 座面の裏側の取付穴にドリンクホルダーのツメをしっかりと押し込む。
- ② ドリンクホルダーを引っ張り、抜けないことを確認する。



ドリンクホルダーのはずしかた

- ① 座面の裏側からゴムベルトをはずし、シートカバーの前側をめくる。
- ② 取付穴にかかっているドリンクホルダーの2つのツメを内側に押したまま、
- ③ ドリンクホルダーを座面の裏側から引き抜く。



お使いいただく前に

お使いいただく前に

このたびは、コンビチャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございます。
お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

●表示について
本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表 示	表示の内容
危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
ワンポイント	チャイルドシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

もくじ

お使いいただく前に P1～P16	
お使いいただく前に	1
お子さまの体重にあわせた使いかた	3
各部のなまえ	4
シートベルトの種類と使用上の注意	7
取り付けできない座席	9
安全にお使いいただくために	11
組み立て P17～24	
背もたれの取り付け	17
背もたれの取りはずし	20
チャイルドモードの使いかた P25～40	
使用前の準備	25
お子さまにあわせた幼児肩ベルトの調節のしかた	25
取り付け上の注意	29
取り付け作業の前に	29
座席の準備	30
車への取り付けかた	32
しっかり取り付けのしかた	34
チャイルドモード取り付けの完了チェックのしかた	35
お子さまの座らせかた	37
幼児ベルトを長くする(お子さまをおろすときは)	37
ジュニアモードの使いかた P41～54	
使用前の準備	41
ジュニアモードへの変更のしかた	42
幼児ベルトの取りはずし	42
バックルの取りはずしと取り付け	45

ベルト調節金具の収納のしかた	47
ベルトポジションナーの準備	49
車への取り付けかた	51
お子さまの座らせかた	52
ベルトポジションナーの調節のしかた	53
ジュニアモードの完了チェックのしかた	54
ブースターモードの使いかた P55～59	
使用前の準備	55
ブースターモードへの変更のしかた	56
車への取り付けかた	56
お子さまの座らせかた	57
ベルトポジションナーの調節のしかた	58
ブースターモードの完了チェックのしかた	59
チャイルドモードへの戻しかた P60～65	
ベルトポジションナーの収納	60
ベルト調節金具の取り付け	61
幼児ベルトの取り付け	62
お手入れのしかた P66～69	
背もたれのシートカバーの取りはずしと取り付け	66
座面のシートカバーの取りはずしと取り付け	67
洗いかた	69
保管のしかた / 廃棄のしかた / 品質保証書 P70～	
保管のしかた / 廃棄のしかた	70
品質保証書	74
角度チェッカー / 問い合わせ先	裏表紙

お使いいただく前に

お子さまの体重にあわせた使いかた

お使いいただく前に

お子さまの体重にあわせて、3つのモードで使います。

モード	チャイルドモード	ジュニアモード	ブースターモード
使用状態			
条件	9kg以上～18kg以下	15kg以上～25kg以下	22kg以上～36kg以下 125～145cm
目安	70～105cm 1才ころ～4才ころ	95～125cm 3才ころ～7才ころ	6才ころ～11才ころ
使用方法	車両シートベルトでチャイルドシートを車の座席に固定し、チャイルドシートの幼児ベルトでお子さまを拘束します。	幼児ベルトを取りはずして、車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。車両肩ベルトをお子さまの肩の高さにあわせるために、ベルトポジションナーを使用します。	さらに背もたれを取りはずして、座面のみで使用します。車両肩ベルトをお子さまの肩の高さにあわせるために、ベルトポジションナーを使用します。
参照ページ	25	41	55



危険

●「身長目安」や「年齢目安」は、あくまでも目安です。
身長や年齢が上記条件を満たしていても、「**体重条件**」および「**身長条件**」を満たしていないお子さまは、そのモードではお使いになれません。

各部のなまえ

つづく →

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

- ご使用前に、74ページの「品質保証書」に次の項目を記入してください。
 - ① ロット No. (座面底面部に貼ってあるシールに記載されています)
 - ② お客様のお名前・ご住所・電話番号
 - ③ 販売店名
- 領収書(レシート)を本書といっしょに保管してください。

梱包内容

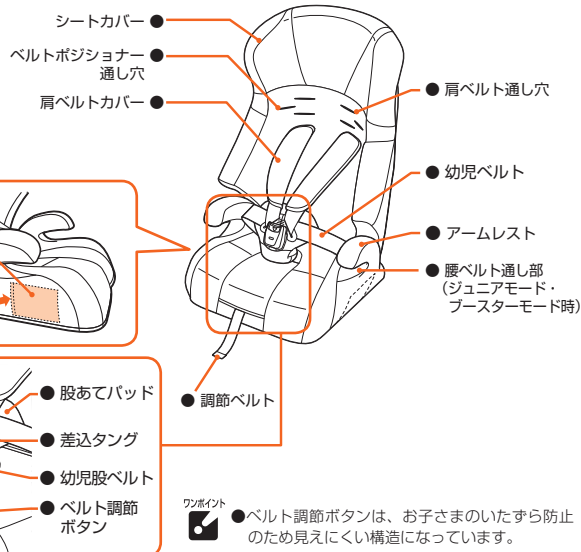
- 本体
- 取扱説明書(本書)
- お客様登録カード

お使いいただく前に

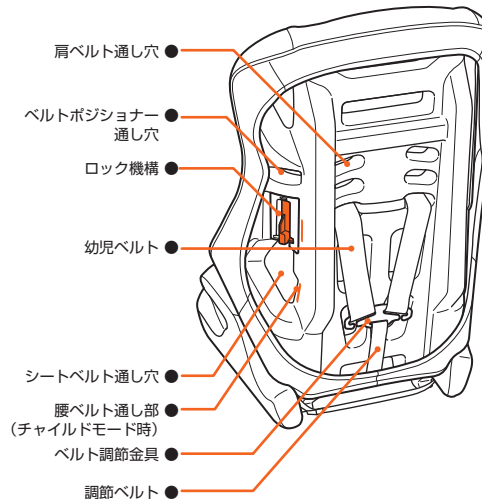
各部のなまえ

お使いいただく前に

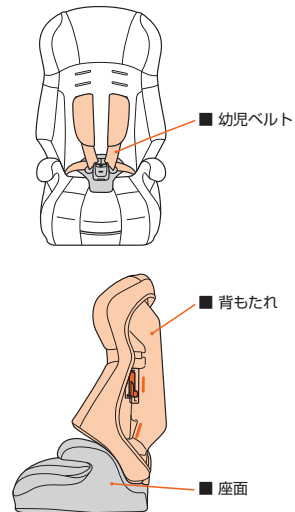
本体正面



本体背面



本書でよく使われる各部位のなまえ



お使いいただく前に

車両シートベルトの種類と使用上の注意

お使いいただく前に

チャイルドシートは、車両シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり、取り付けられない場合があります。

本製品はUN R16または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。ご使用の際には、必ず車種適合および右記の表を確認してください。

* 日本国内で登録されている自動車は、ほぼ適合しております。車種適合につきましては下記サイトにてご確認になるか、チャイルドシート販売店にてご相談ください。

● パソコンから <http://www.combibaby.com/>

コンビ 適合

検索



● 携帯電話から <http://www.combibaby.com/i/>



危険

- 必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。
- 2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

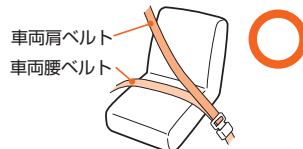
2点式シートベルトとは

図のように、車両肩ベルトがなく、車両腰ベルトの左右2点で体を支える車両シートベルトのこと。



3点式シートベルトとは

図のように、車両腰ベルトの左右と車両肩ベルトの3点で体を支える車両シートベルトのこと。



お使いいただく前に

シートベルトの種類と特徴 (見分けかた)		チャイルドモード	ジュニアモード ブースターモード
ELR	ゆっくり引くと自由に入出力し、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。
AELR	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すとチャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなる。(シートベルトを全て巻き戻すと解除される)	チャイルドシートの取り付けが終わったら、シートベルトを全て引き出した後ベルトを戻し、チャイルドシート固定機能をきかせてください。	シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを1度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取り付けてください。
その他	上記に当てはまらないシートベルト。	使用できません。 	使用できません。 

* シートベルトの種類が不明な場合は、各自動車メーカーにお問い合わせください。

取り付けできない座席

本製品は、前座席・後座席ともに取り付けできますが、より安全な後座席への取り付けをおすすめします。
※助手席への取り付けはエアバッグの有無に関わらずおすすめできませんので、適合調査は行っておりません。

取り付けできない座席

下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合には使用しないでください。

- 車両シートベルトの付いていない座席。



- 2点式シートベルトの座席。



- 進行方向に対して横向き、または後向きの座席。



- パッシブシートベルトの付いた座席。
※パッシブシートベルトとは
…車の座席に座ってドアを閉めると、自動的にシートベルトを装着してくれる装置のこと。(オートマチックシートベルト)



次の条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

- エアバッグ装備の座席。
…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



- 車両シートベルトの取り付け幅※が32cm未満の座席。
※ 車両シートベルトが座席の端にあたっているところから、バックルの付け根までの長さ。



- 座面の奥行きが40cm未満の座席。



- 極端なバケットシート。
…座面の中央が深くへこんでいる座席。



- 座席の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。



- 車両シートベルトが座席の中間から出ている座席。
…チャイルドシートのシートベルト通し穴の位置よりも、前方向から車両シートベルトが出ている座席。



安全にお使いいただくために

お使いいただく前に

⚠危険

次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

- 使用条件に**適合しないお子さま**や、**取り付けできない座席**などでは、使用しないでください。



- 車両シートベルトおよび座席の種類などにより、**取扱説明書どおり**にチャイルドシートをしっかりと固定できないときは、他の座席に取り付けてください。



- お子さまがチャイルドシートの上に**立ったり**、**中腰になったり**、**正座をしない**ように注意してください。チャイルドモードで使用する場合は、お子さまを座らせたときには、お子さまに**股あてパッド**、**幼児ベルト**が正しく装着され、左右の**差込タンク**がしっかりバックルに差し込まれ、**表示が緑色に変わっている**ことを確認してください。



- エアバッグ装備の座席**では**本製品を使用しないで**ください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。…サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



⚠危険

- ジュニアモード・ブースターモードで使用する場合は、お子さまを座らせたときには、**車両シートベルトが正しい位置で調節されている**ことを確認してください。



- 車に取り付けるときは、車両シートベルトを取扱説明書および本体表示に従って正しく通して取り付けてください。誤った部分を通して取り付けないでください。



- 車に取り付けるときは、必ず**車両シートベルトで固定**してください。ひもなど、車両シートベルト以外のもの固定しないでください。



⚠緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者のかたがバックルボタンを押し、幼児ベルトをはずして、(ジュニアモード、ブースターモードの場合は車両シートベルトをはずして)すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。



お使いいただく前に

警告

次のような使いかたは、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

- 幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。

… 幼児ベルトは正しい長さに調節してください。(37ページ「お子さまの座らせかた」参照)



- バックルにゴミ・飲食物などが詰まって確実に差し込めない場合または解除しにくい場合は修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



- お子さまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。差込タングがバックルからはずれていないことを確認してください。はずれていると本来の動きをせずさらにベルトが首に巻き付くおそれもあります。



- 幼児ベルトに傷がついたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



- 車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。



- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。



- チャイルドシートにお子さまが座った状態で運ばないでください。



- ジュニアモード、ブースターモードで使用の場合は、必ずベルトポジションナーを使用してください。衝突時、車両シートベルトが肩からはずれて危険です。



- ベルトポジションナーは肩と同じ高さになるように調節し、車両シートベルトがお子さまの体にあうようにして使用してください。(53、58ページ参照)

- ジュニアモード・ブースターモードで使用の場合、チャイルドシート固定機能付きシートベルトのときは、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。(8ページ「シートベルトの種類と特徴」参照)



- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の原因になります。必ず保護者のかたが同乗してください。



警告

次のような使いかたは、お子さまや同乗しているかたに危険をまねくおそれがあります。

- シフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす場合は、後座席に取り付けてください。



- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合には、助手席には取り付けないでください。



- お子さまが座っていないときでも、本製品は必ず車両シートベルトで取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転の妨げとなる場合があります。



安全にお使いいただくために

お使いいただく前に

⚠ 注意

- 直射日光が当たると、本体や差込タングなどが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。夏などの日差しが強い日は、日かげに駐車するか、チャイルドシートにカバーなどをかけてください。また、お子さまを座らせる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。



- 走行中は、チャイルドシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないようにしてください。



- 背もたれのみでは使用しないでください。



- チャイルドシートを通常の椅子として使用すると、転倒しけがの原因となります。本書に記載されていない使いかたをしないでください。



- チャイルドシートを車のシート可動部やドアにはさまないように、十分注意してください。



- チャイルドシートを改造しないでください。また、本書に記載されていない使いかたをしないでください。



- お子さまだけで乗り降りさせないでください。必ず保護者のかたが乗せ降ろしをしてください。



⚠ 注意

- シートカバー・肩ベルトカバー・股あてパッド・ウレタンなどのクッション材は、はずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)



- 車の座席に、クッションや座布団などを敷いたまま、チャイルドシートを取り付けしないでください。チャイルドシートがしっかり固定されません。



- 座席の表皮素材(革など)および形状によっては、取り付けた座席に傷や跡がつくおそれがあります。別売りの「コンビズレ防止・保護シート」の使用をおすすめいたします。

- チャイルドシートを風雨にさらさないでください。



- 固定されていない物を車内に置かないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまなどに当たるおそれがあります。



- 幼児ベルトを持ってチャイルドシートを持ち運びしないでください。

- 爪を伸ばしていたり付け爪をしていると、拘束や調節操作をする際、巻き込まれる可能性がありますので、十分注意してください。

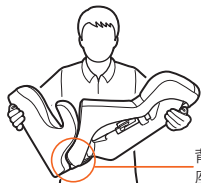


お使いいただく前に

工場出荷時、本製品は背もたれと座面がはずれた状態になっています。チャイルドモード(P25)や、ジュニアモード(P41)で使用する場合は、背もたれを座面に取り付けて使用します。

- 組み立てるときは、平らで柔かい床の上で行ってください。製品の破損や床への傷つきを防ぎます。
 - 組み立てるときは、周囲の人にも気をつけて指などをはさまないように注意してください。
 - 組み立てたチャイルドシートを持ち運ぶ場合は、図のように持ち、**背もたれと座面の接合部**に指をはさまないように注意してください。
- ※ 組み立てたチャイルドシートの背もたれと座面は動きます。

注意

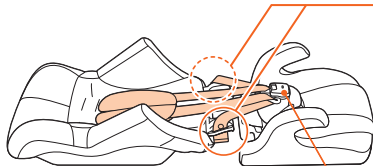


背もたれと座面の接合部

- ペルト類を、背もたれと座面の間にはさまないように注意してください。

背もたれの取り付け

- 1 ペルト類にねじれがないことを確認し、背もたれと座面を**平らで柔かい床の上**に置いて、図のように幼児ベルトを整える。



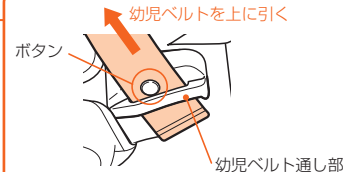
*チャイルドモードで使用的場合、差込タングはバックルに差し込んでおく。

ワンポイント



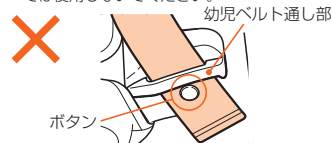
- 幼児ベルトにねじれがないことを確認してから組み立てます。

- 2 左右の幼児ベルトを上引き、左右のボタンが**幼児ベルト通し部より上**にあることを確認する。

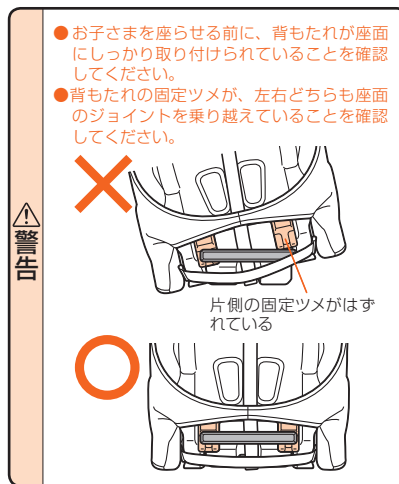
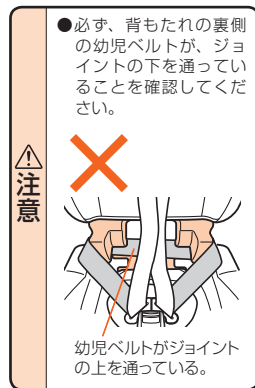
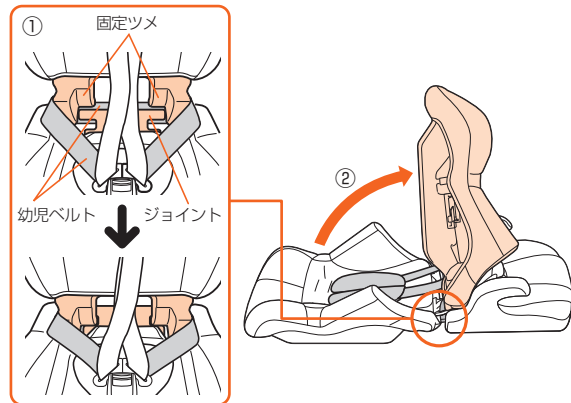


警告

- ボタンが**幼児ベルト通し部より下**にある状態では使用しないでください。



- 3** ① 背もたれの裏側の幼児ベルトが、ジョイントの下を通っていることを確認し、背もたれの**固定ツメ**を座面の**ジョイント**にあわせる。
② 背もたれの**固定ツメ**が座面の**ジョイント**をしっかりと乗り越えるまで、背もたれをゆっくり起こす。

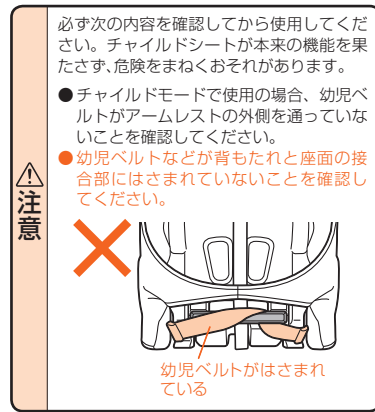


ブースターモード(P55)で使用する場合は、背もたれを座面から取りはずして使用します。

*取りはずしは、取り付けの逆の手順です。



- 組み立てたチャイルドシートの背もたれと座面は動きます。



背もたれの取りはずし

チャイルドモードの使いかた

使用前の準備

体重条件	9kg 以上～ 18kg 以下
身長目安	70 ～ 105cm
年齢目安	1 才ころ～ 4 才ころ
使用方法	車両シートベルトでチャイルドシートを車の座席に固定し、チャイルドシートの幼児ベルトでお子さまを拘束します。

ワンポイント ● 体重が 15kg 以上のお子さまは、ジュニアモード (P41) でも使用できます。



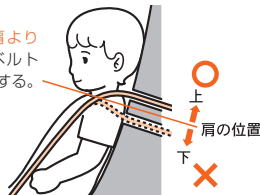
お子さまにあわせた幼児肩ベルトの調節のしかた

お子さまの肩の高さにあわせて、肩ベルト通し穴の位置を決めてください。

- 肩ベルト通し穴の位置の決めかた
お子さまをチャイルドシートに座らせて、正しい肩ベルト通し穴の位置を確かめてください。

お子さまの肩より
すぐ上の肩ベルト
通し穴を使用する。

- 警告**
- 肩ベルト通し穴の位置は、お子さまの肩よりすぐ上の肩ベルト通し穴を使用してください。
 - 肩ベルト通し穴は、左右同じ高さの穴を使用してください。



※ 幼児股ベルトの長さや位置は調節できません。幼児肩ベルトを調節してください。

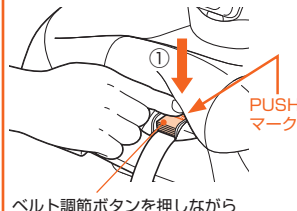
チャイルドモード (体重 9kg 以上～ 18kg 以下) つづく

お子さまの肩の高さにあった位置に、幼児肩ベルトを調節します。

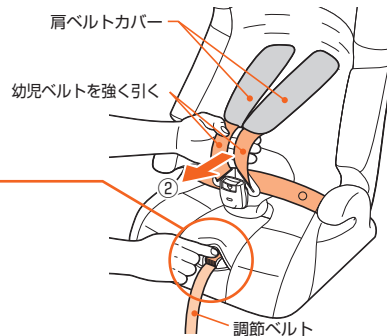
- 1 幼児ベルトを引き出す。
- ① 座面のシートカバー下のベルト調節ボタンの奥側の「PUSH」を押しながら、
 - ② 左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に強く引き、幼児ベルトが引けなくなるまで引き出す。
- * 肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトはゆるみません。幼児ベルトを引いてください。

- ワンポイント ● ベルト調節ボタンは、お子さまのいたずら防止のため見えにくい構造になっています。
- ベルト調節ボタンを押すときは、ボタンの「PUSH」マークを確実に押してください。
 - ベルト調節ボタンが動かない場合は、調節ベルトを手前に引っ張りながら、ベルト調節ボタンを強く押し込んでください。

■ PUSHマークの位置

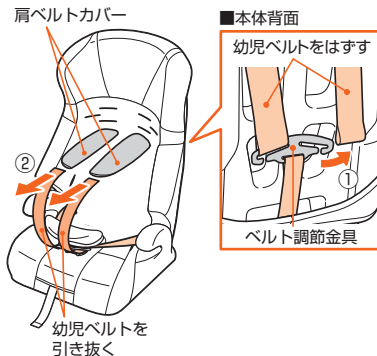


ベルト調節ボタンを押しながら



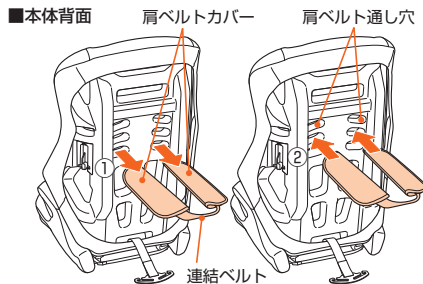
2 幼児ベルトを取りはずす。

- ① 左右の幼児ベルトを、本体背面のベルト調節金具からはずす。
- ② 幼児ベルトを肩ベルトカバーから引き抜く。
* 肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトははずれません。幼児ベルトを引いてください。



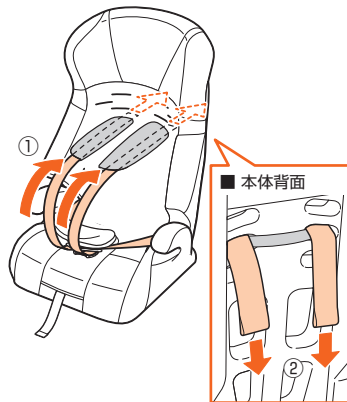
3 肩ベルトカバーの位置を変える。

- ① 肩ベルトカバーを、**本体背面から**片方ずつ引き抜く。
* 肩ベルトカバーがうまく引き抜けないときは、**本体正面から肩ベルト通し穴に肩ベルトカバーの根元を押し込みながら**、本体背面から引き抜いてください。
* 左右の肩ベルトカバーは、**連結ベルトにより本体背面でつながっています。**
- ② 肩ベルトカバーを適正な肩ベルト通し穴に通す。
* 「お子さまにあわせた幼児肩ベルトの調節のしかた」(P25) 参照。

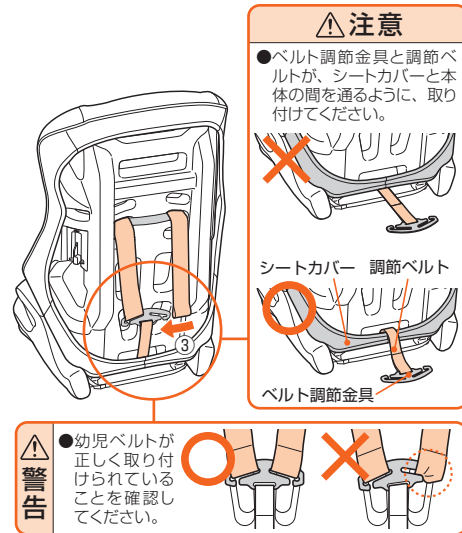


4 幼児ベルトを取り付ける。

- ① 肩ベルトカバーに幼児ベルトをねじれないように注意しながら通す。
- ② 幼児ベルトを本体背面に引き出す。



- ③ ベルト調節金具に幼児ベルトを取り付ける。



取り付け上の注意

ここでは、チャイルドモードでの取り付け上の注意を説明しています。
車の座席の形状などにより、取り付けできない場合があります。「取り付けできない座席」(P9)参照。

危険

- チャイルドシートがしっかり固定できない場合は、本来の機能を果たさず大変危険ですので、他の座席に取り付けてください。
- 車に取り付けるときは、ひもなど、車両シートベルト以外のものでも固定しないでください。
- エアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
※サイドエアバッグのみの場合には使用できます

警告

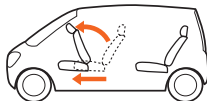
- 車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けしないでください。
- お子さまがチャイルドシートに座っていないときでも、必ず車両シートベルトで固定しておいてください。
- シフトレバーやパーキングブレーキなどの運転操作に支障をきたす場合は、助手席に取り付けしないでください。
- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、チャイルドシートを助手席に取り付けしないでください。緊急時の脱出の妨げになります。

取り付け作業の前に

1 取り付け作業は、ドアの全開閉操作が可能な、平らな場所で行ってください。



2 車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせてから取り付けてください。



ワンポイント

●チャイルドモードで使用の際、取り付け座席にスライド機能がついている場合、取り付け終了後に座席を前にスライドさせると、より確実に固定できます。

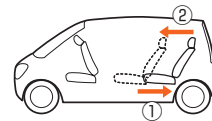
- ① チャイルドシートを取り付ける前に、取り付け座席を1番後ろにスライドさせる。
- ② 取り付け手順終了後に、取り付け座席を前にスライドさせる。

下記のサイトにて取扱説明動画を提供しておりますので、ご確認ください。
http://www.combi.co.jp/soudan/after/manual_dvd.html

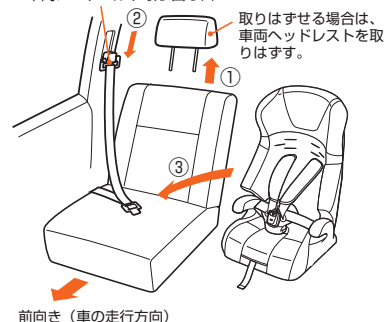


座席の準備

- 1** チャイルドシートをしっかりと固定させるために、車の座席を調節する。
- ① 車両ヘッドレストが取りはずせる場合は取りはずす。
 - ② 車両シートベルト取り出し口の高さが調節できる場合は、最下段に下げる。
 - ③ チャイルドシートを前向きに置く。



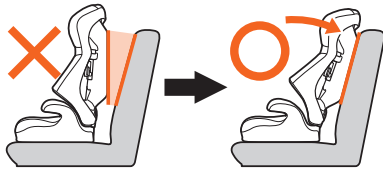
車両シートベルト取り出し口



取りはずせる場合は、車両ヘッドレストを取りはずす。

前向き (車の走行方向)

2 チャイルドシートと車の座席の背もたれとの間に、すき間がなくなるように調節する。



- 車の座席の背もたれがリクライニングできない場合は、チャイルドシートの背もたれの角度を調節し、車の座席とのすき間をなくす。



警告

- 車の座席の背もたれがリクライニングできる場合は、背もたれの角度を調節し、本製品の背もたれを 15° 前後の傾きにして使用してください。極端に倒した状態で使用すると、事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。
* 角度を確かめるときは、本書裏表紙の角度チェッカーをご利用ください。

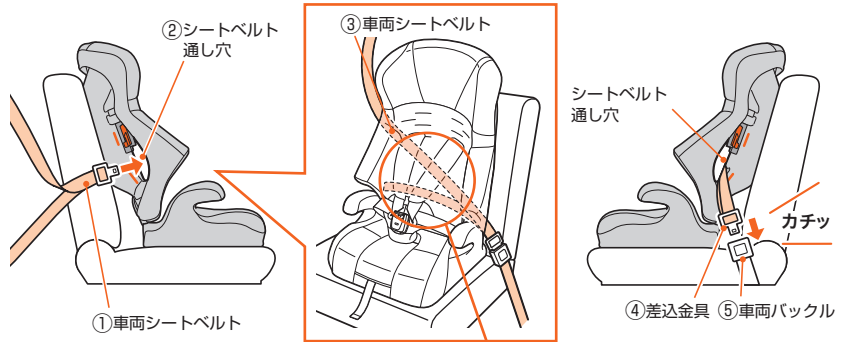


- チャイルドシートと車の座席とのすき間が極端に空いた状態で使用すると、事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。

車への取り付けかた

1 車両シートベルトを取り付ける。

- ① 車両シートベルトを **ねじらないように、ゆっくりと引き出し、**
- ② シートベルト通し穴に通す。
- ③ 車両シートベルトに **ねじれがないことを確認し、**
- ④ 差込金具を反対側のシートベルト通し穴から出し、
- ⑤ 車両バックルに『カチッ』と音がするまで差し込む。



* 車両シートベルトにねじれがないこと

* 取りはずしは、取り付けの逆の手順です。

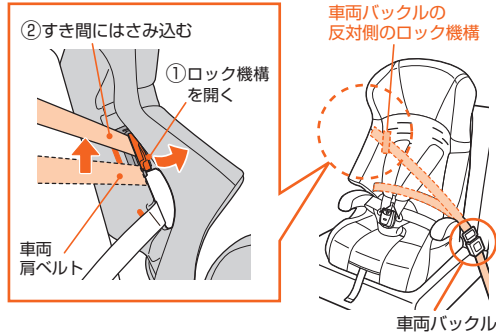
2 ロック機構に車両肩ベルトを取り付ける。

- ① 車両バックルの反対側のロック機構を開き、
- ② ロック機構のすき間の上まで車両肩ベルトをはさみ込み、ロック機構を押し込み閉める。

ワンポイント

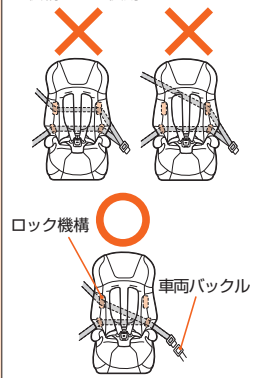


●ロック機構は自動で閉まりますが、車両肩ベルトをしっかりと取り付けるために、最後に軽く押し込んで閉めます。



警告

- 車両バックル側のロック機構は使用しないでください。
- 車両バックルの反対側のロック機構だけを使用してください。



しっかり取り付けのしかた

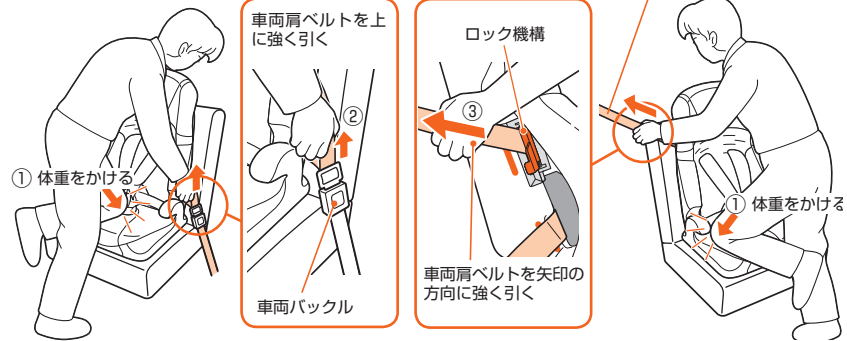
車両シートベルトのゆるみをなくし、チャイルドシートをしっかりと固定します。

- ① 座面の奥にひざを乗せて体重をかけ、車の座席にチャイルドシートを沈み込ませながら、
- ② 車両バックル上の車両肩ベルトを上強く引き、車両腰ベルトのたるみをとる。
- ③ もう一方の手で、ロック機構部分の車両肩ベルトを矢印の方向に強く引き、車両肩ベルトのゆるみをなくす。

ワンポイント



●体重をかけながら、②と③を同時に、くり返し行います。



*取りはずしは、取り付けの逆の手順です。

チャイルドシートの取りはずし

チャイルドモード取り付けの完了チェックのしかた

チャイルドモード (体重 9kg 以上～ 18kg 以下)

チャイルドモード取り付けの完了チェックのしかた

取り付けが終わったら、チャイルドシートが正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

- ① 車の座席と背もたれの間に大きなすき間がないこと。
- ② 車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
- ③ 車両シートベルトにゆるみ・たるみ・ねじれがないこと。
- ④ バックルベルトにゆるみがないこと。
* 36 ページ警告を参照。
- ⑤ 車両腰ベルトが、左右の腰ベルト通し部にかかっていること。
- ⑥ 車両肩ベルトが、車両バックルの反対側のロック機構に通じ、ロックされていること。
- ⑦ 側面部分を持ち前後にゆすり、座面が大きく動かないこと。
* チャイルドシートの構造上、座面が上下に動く場合がありますが、使用上問題はありません。



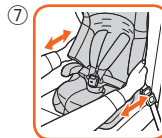
車両肩ベルトの確認



車両腰ベルトの確認

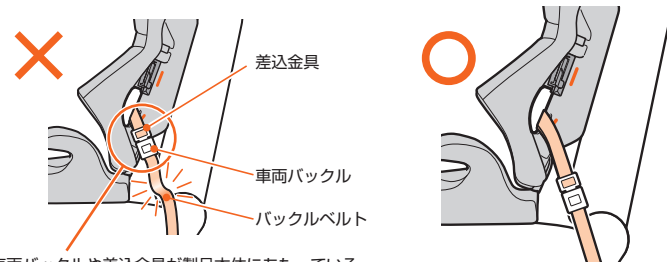


車両腰ベルトの確認



警告

- 車両バックルや差込金具が製品本体にあたりバックルベルトにゆるみができると、取り付けが不安定になります。取り付けが不安定な状態では、使用しないでください。



車両バックルや差込金具が製品本体にあっている

- * 車両バックルや差込金具が製品本体にあっても、バックルベルトにゆるみがなく、チャイルドシートがしっかり取り付けられていれば使用できます。
- * ご不明な点は、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。

これらの項目をチェックし、しっかり取り付けられていない場合は、30～35ページの手順の必要なステップを、もう1度くり返してください。
それでも、しっかりと取り付けられない場合は、その座席では使用しないでください。
本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

お子さまの座らせかた

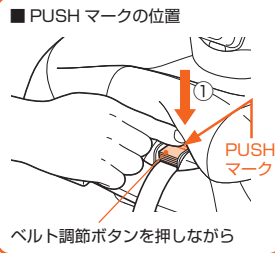
あらかじめ、肩ベルト通し穴の位置をお子さまの体にあわせてください。「お子さまにあわせた幼児肩ベルトの調節のしかた」(P25) 参照。

- かさばった服を着せたまま、座らせないでください。
- お子さまを座らせるときには、下図のような座らせかたをしないでください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

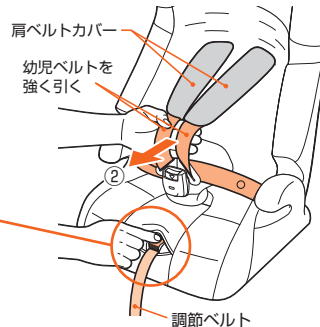


警告

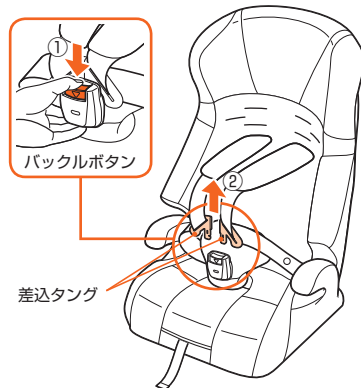
- 1 幼児ベルトを引き出す。
① 座面のシートカバー下の**ベルト調節ボタン**の奥側の『**PUSH**』を押しながら、
② **左右の幼児ベルトの両方**を持ち、手前に強く引き、ゆるめる。
* 肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトはゆるみません。幼児ベルトを引いてください。



- ワンポイント
- ベルト調節ボタンは、お子さまのいたずら防止のため見えにくい構造になっています。
 - ベルト調節ボタンを押すときは、ボタンの『PUSH』マークを確実に押してください。
 - ベルト調節ボタンが動かない場合は、調節ベルトを手前に引っ張りながら、ベルト調節ボタンを強く押し込んでください。



- 2 差込タンクをはずす。
① バックルボタンを押して、
② 差込タンクをはずす。



幼児ベルトを長くする (お子さまをおろすときは)

* お子さまをおろすときは、1 と 2 の手順で行います。

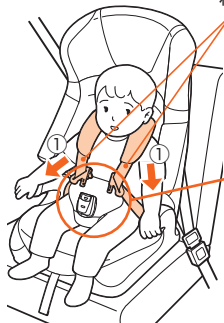
チャイルドモードの使いかた

3 お子さまを座らせる。

お子さまを深く座らせ、

- ① 左右の腕を幼児ベルトに通す。
- ② 左右の差込タングを組みあわせてから、『カチッ』と音がするまで差込タングをバックルに差し込む。

左右の幼児ベルトが
ねじれていないこと



ワンポイント ● バックルのボタンは、お子さまの力では
はずれないように固くしてあります。

4 差込表示が『緑色』に変わっていることを確認する。



差込表示
赤色が緑色に
変わります。



● 左右の差込タングが、確実にバックルに差し込まれていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、幼児ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。

5 幼児ベルトを短く調節する。

- ① 幼児腰ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにし、腰部に密着させる。
- ② 幼児肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。
- ③ 調節ベルトを手前に引き、左右の幼児ベルトをたるんだり、ゆるまないようにお子さまの体にフィットさせる。



お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず幼児腰ベルトを低く下げること。



- ワンポイント ● お子さまが窮屈でないように、また幼児ベルトがたるんだり、ゆるまないように調節してください。
- お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入るくらいが適切です。きつかったり、ゆるかったりするときには、幼児ベルトの長さを調節してください。
 - 幼児ベルトをゆるめるときは、「幼児ベルトを長くする」(P37) を参照してください。



- 警告 ● 必ず幼児ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出たりするおそれがあります。
- 幼児ベルトをたるませて使用すると、ベルトが首に巻きつき窒息するおそれがあります。

使用前の準備

体重条件	15kg 以上～ 25kg 以下
身長を目安	95 ～ 125cm
年齢を目安	3 才ころ～ 7 才ころ
使用方法	幼児ベルトを取りはずして、車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。車両肩ベルトをお子さまの肩の高さにあわせるために、ベルトポジショナーを使用します。



危険

- 必ず 3 点式シートベルトの座席で使用してください。2 点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。
- お子さまが座っていないときでも、必ず車両シートベルトで取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、危険なことがあります。

警告

- 必ずベルトポジショナーを使用してください。衝突時、車両シートベルトが肩からはずれて危険です。
- チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。「シートベルトの種類と特徴」(P8) 参照。
- 車両シートベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。
- 車両シートベルトに傷がある場合は、その座席では使用しないでください。

ジュニアモードへの変更のしかた

チャイルドモード(P25) で使用していた、幼児ベルトとバックルを取りはずします。

注意

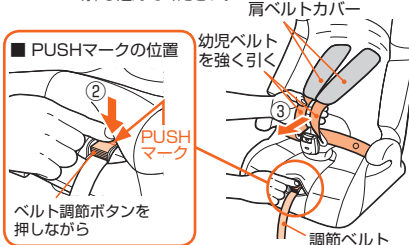
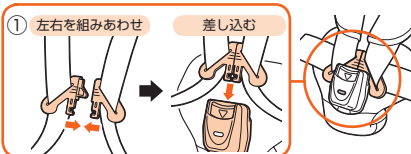
- チャイルドシートを車の座席から取りはずし、モードの変更を行ってください。

幼児ベルトの取りはずし

- 1 幼児ベルトを引き出す。
① 左右の差込タングを組みあわせてから、『カチッ』と音がするまで差込タングをバックルに差し込む。
② 座面のシートカバー下のベルト調節ボタンの奥側の『PUSH』を押しながら、
③ 左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に強く引き、ゆるめる。
* 肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトはゆるみません。幼児ベルトを引いてください。

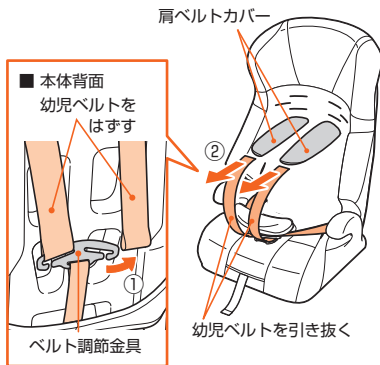
ワンポイント

- ベルト調節ボタンは、お子さまのいたずら防止のため見えにくい構造になっています。
- ベルト調節ボタンを押すときは、ボタンの『PUSH』マークを確実に押してください。
- ベルト調節ボタンが動かない場合は、調節ベルトを手前に引っ張りながら、ベルト調節ボタンを強く押し込んでください。

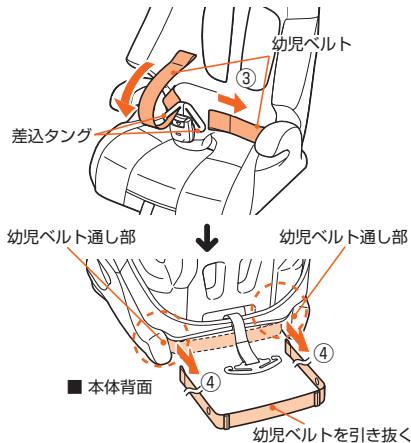


2 幼児ベルトを取りはずす。

- ① 左右の幼児ベルトを、本体背面のベルト調節金具からはずす。
 - ② 幼児ベルトを肩ベルトカバーから引き抜く。
- * 肩ベルトカバーを引いても幼児ベルトははずれません。幼児ベルトを引いてください。



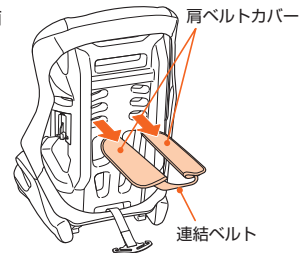
- ③ 差込タングから、左右の幼児ベルトを引き抜く。
- ④ 本体背面より、幼児ベルトを、左右の幼児ベルト通し部から、片方ずつゆっくりと引き抜く。



3 肩ベルトカバーを取りはずす。

- 左右の肩ベルトカバーを本体背面から片方ずつ引き抜く。
- * 左右の肩ベルトカバーは、連結ベルトにより本体背面でつながっています。

■ 本体背面



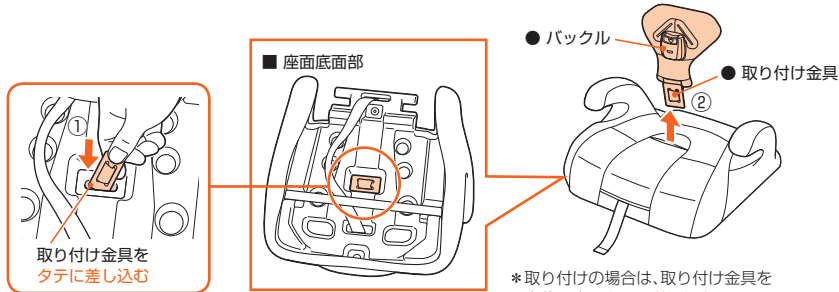
ワンポイント

- 肩ベルトカバーがうまく引き抜けないときは、本体正面から肩ベルト通し穴に肩ベルトカバーの根元を押し込みながら、本体背面から引き抜いてください。
- 幼児ベルトの取り付けは、62 ページを参照してください。
- バックルの取りはずしは、45 ページを参照してください。

バックルの取りはずし

※ 本体が不安定な状態になります。座面から背もたれを取りはずした状態で (P20)、作業をしてください。

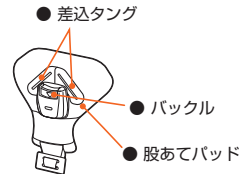
- ① 座面底面部から、幼児股ベルトの取り付け金具を引っぱって浮かせ、本体の穴にタテに差し込む。
- ② 座面の表から、取り付け金具を引き抜く。



● 取り付けの場合は、取り付けが終わったら座面の表面からバックルをひっぱり、しっかり取り付けられていることを確認してください。



- 背もたれを取りはずしてから、バックルの取りはずし、取り付けをしてください。背もたれを取り付けた状態では、本体が不安定です。
- 取りはずした幼児ベルトやバックルは、いっしょに大切に保管し、なくさないようにしてください。



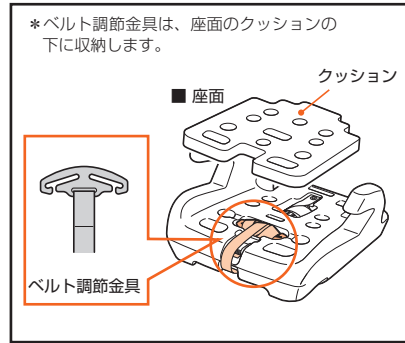
ワンポイント



- 差込タングはなくさないように、バックルに差し込んだままにしてください。
- 股あてパッドはバックルから取りはずすことができます。
- 幼児ベルトの取りはずしは、42ページを参照してください。

ベルト調節金具の収納のしかた

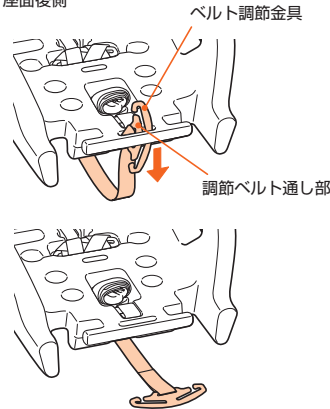
ベルト調節金具を座面内に収納します。
座面から背もたれを取りはずし (P20)、シートカバーとクッションを取りはずし (P67)、ベルト調節金具を収納します。



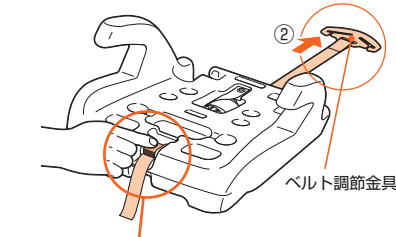
ワンポイント
●ベルト調節金具の取り付けは、61 ページを参照してください。

1 ベルト調節金具を、座面後側の調節ベルト通し部にタテに差し込んで引き抜く。

■ 座面後側



2 ① ベルト調節ボタンの奥側の『PUSH』を押しながら、
② ベルト調節金具を最大まで引き出す。



■ PUSHマークの位置

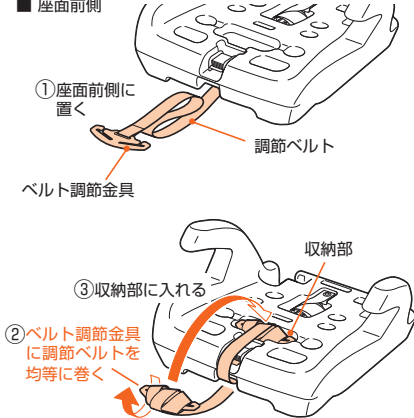


ワンポイント

●ベルト調節ボタンを押すときは、ボタンの『PUSH』マークを確実に押してください。

3 ベルト調節金具を収納する。
① ベルト調節金具を座面前側に置く。
② ベルト調節金具に調節ベルトを均等に巻いて、
③ 収納部にベルト調節金具を入れる。

■ 座面前側

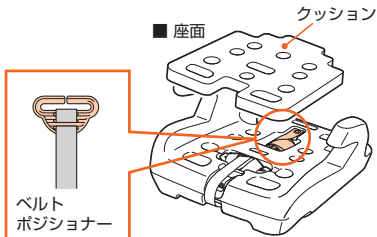


ベルトポジショナーの準備

ベルトポジショナーの準備をします。

座面から背もたれを取りはずし (P20)、シートカバーとクッションを取りはずし (P67)、ベルトポジショナーを取り出します。

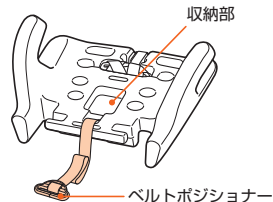
*ベルトポジショナーは、座面のクッションの下に収納してあります。



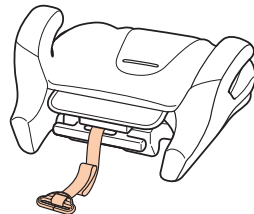
●ベルトポジショナーの収納は、60 ページを参照してください。

1 収納部からベルトポジショナーを取り出す。

■ 座面後側



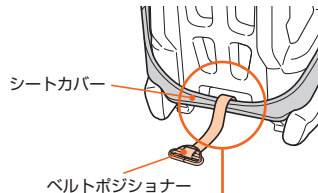
2 座面にクッションとシートカバーを取り付ける。(P67 参照)



ここからは、座面に背もたれを取り付けてから (P17)、作業を行います。

3 ベルトポジショナーを、シートカバーと本体の間を通す。

■ 本体背面



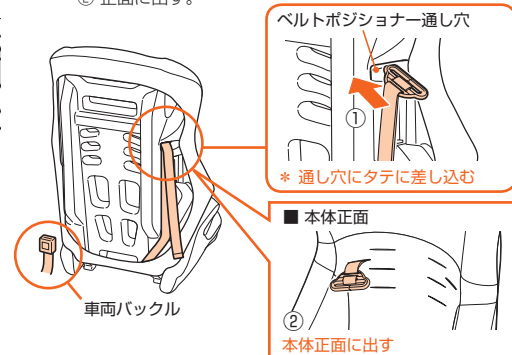
●ベルトポジショナーが、シートカバーと本体の間を通るように取り付けてください。

⚠ 注意



4 ベルトポジショナーを取り付ける。

- ① ベルトポジショナーを車両バックルの反対側のベルトポジショナー通し穴にタデに差し込み、
- ② 正面に出す。



⚠ 警告

●ベルトポジショナーを肩ベルト通し穴に通して使用しないでください。必ずベルトポジショナー通し穴を通して使用してください。

車への取り付けかた

車への取り付けかた

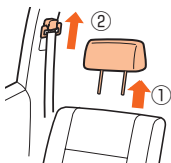
警告

- 車の座席の背もたれがリクライニングできる場合は、背もたれの角度を調節し、本製品の背もたれを15°前後の傾きにして使用してください。
極端に倒した状態で使用すると、事故などの衝突時にお子さまの体が車両シートベルトの下からすり抜けたり、ベルトが首にかかるおそれがあり危険です。
- * 角度を確かめるときは、本書裏表紙の角度チェッカーをご利用ください。



1

- ① 車両ヘッドレストが取りはずせる場合は取りはずす。
- ② 車両シートベルト取り出し口の高さが調節できる場合は**最上段に上げる**。



2

- ジュニアシートを車の座席に置き、車両シートベルトを引き出して、
- ① 車両肩ベルトをベルトポジションナーに通す。
 - ② 車両腰ベルトを左右のアームレスト下側の腰ベルト通し部に通す。
 - ③ **『カチッ』と音がするまで**差込金具を車両バックルに差し込む。

* 車両肩ベルトは背もたれの上側から通すこと。

*** 背もたれの上側から通す。**



注意

- お子さまを座らせていないときも、つねにこの状態にしておいてください。

お子さまの座らせかた

お子さまの座らせかた

お子さまを座らせるときは、以下のことに注意して、深く座らせてください。

- 本製品は、車両シートベルトを締めていない状態では不安定です。保護者のかたの補助なしでお子さまが1人で乗り降りすると、車の座席からすれ落ちたり倒れたりするおそれがあります。必ず保護者のかたが乗せ降ろしをしてください。
- お子さまを図のように座らせると、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険です。

警告

- ・ のけぞる、前かがみになる。
- ・ お子さまが、体を左右どちらかに傾けて座っている。
- ・ 中腰・正座・立てひざなどをとする。



差込金具をいったんはずし、お子さまを深く座らせ、車両シートベルトを引き出して**『カチッ』と音がするまで**差込金具を車両バックルに差し込む。

*** 車両腰ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるとし、腰部に密着させる。**



警告

- お子さまの腕は、必ず車両シートベルトの上になるようにしてください。



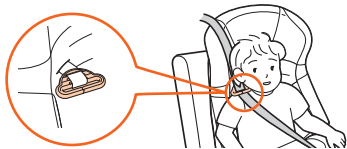
注意

- 背もたれと座面の間に衣服をはさむおそれがあります。ご注意ください。

ベルトポジショナーの調節のしかた

お子さまを深く座らせ、肩の高さにあわせてベルトポジショナーの長さを調節します。

*ベルトポジショナーは座面のクッションの下に収納されています。(P49 参照)



ベルトポジショナーの正しい位置

図のように、ベルトポジショナーを肩と同じ高さになるように調節し、車両シートベルトをお子さまの体にあわせる。



●ベルトポジショナーは車両肩ベルトがお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまが成長し、ベルトポジショナーが低くなったときには、高さを調節しなおしてください。

長くする場合

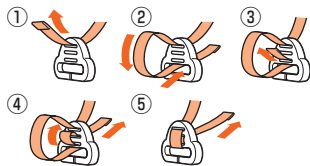


短くする場合



ベルトの通しかた

ベルトがはずれてしまった場合は、図のようにベルトを通す。

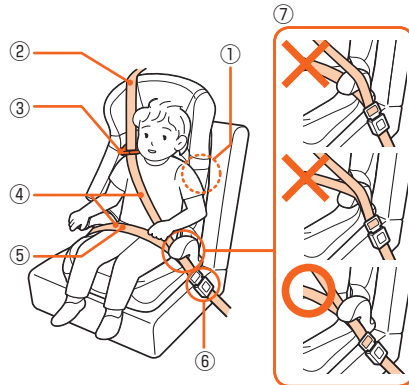


ジュニアモードの完了チェックのしかた

ジュニアモードの完了チェックのしかた

お子さまを座らせ、車両シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。

- ① 車の座席とジュニアシートの上に大きなすき間がないこと。
- ② 車両肩ベルトが背もたれの上側から通してあること。
- ③ 車両肩ベルトがベルトポジショナーを通り、お子さまの首を圧迫していないこと。また、肩からはずれていないこと。
- ④ 車両シートベルトがお子さまの体に密着していて、ねじれやたるみがないこと。
- ⑤ 車両腰ベルトがお子さまの腰骨を押さえていること。
- ⑥ 車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
- ⑦ 車両肩ベルト・車両腰ベルトが左右のアームレスト下側の腰ベルト通し部を通っていること。



●これらの項目をチェックし、正しい状態でない場合は、51～53ページの手順の必要なステップを、もう1度くり返してください。それでも正しい状態にならない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

●お子さまの後頭部が背もたれの上端よりも上に出る場合は、ブースターモードでご使用ください。そのまま使用すると事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。

ブースターモードの使いかた

使用前の準備

体重条件 身長条件	22kg 以上～ 36kg 以下 125 ～ 145cm
年齢の目安	6 才ころ～ 11 才ころ
使用方法	幼児ベルトや背もたれを取りはずして、座面のみで使用します。車両肩ベルトをお子さまの体にあわせるためにベルトポジショナーを使用します。



- 必ず 3 点式シートベルトの座席で使用してください。2 点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。
- お子さまが座っていないときでも、必ず車両シートベルトで取り付けてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、危険なことがあります。



- **必ずベルトポジショナーを使用してください。**衝突時、車両シートベルトが肩からはずれて危険です。
- **チャイルドシート固定機能付きシートベルトの場合、固定機能を働かせないでください。**お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。「シートベルトの種類と特徴」(P8) 参照。
- 車両シートベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻きつき、窒息するおそれがあります。
- 車両シートベルトに傷がある場合は、その座席では使用しないでください。

ブースターモード (体重 22kg 以上～ 36kg 以下、身長 125 ～ 145cm) つづく

ブースターモードへの変更のしかた

- チャイルドモードから変更する場合、42 ～ 49 ページの作業を行います。
- ジュニアモードから変更する場合、背もたれからベルトポジショナーを取りはずし(P60)、座面から背もたれを取りはずします(P20)。

車への取り付けかた

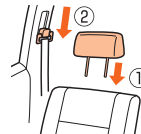


- 車の座席の背もたれがリクライニングできる場合は、立てた状態で使用してください。極端に倒した状態で使用すると、事故などの衝突時にお子さまの体が車両シートベルトの下からすり抜けたり、ベルトが首にかかったりするおそれがあり危険です。



1

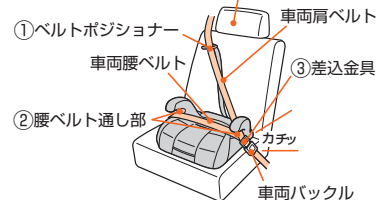
- ① 車両ヘッドレストを取りはずしている場合は取り付ける。
- ② 車両シートベルト取り出し口の高さが調節できる場合は**最下段に下げる。**



2

- 座面を車の座席に置き、車両シートベルトを引き出して、
- ① ベルトポジショナーに車両肩ベルトを通す。
 - ② 車両腰ベルトを左右のアームレスト下側の腰ベルト通し部に通す。
 - ③ **『カチッ』と音がするまで**差込金具を車両バックルに差し込む。

***ヘッドレストを取り付けること**



- お子さまを座らせていないときも、つねにこの状態にしておいてください。

お子さまの座らせかた

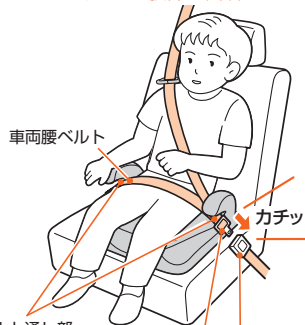
お子さまの座らせかた

差込金具をいったんはずし、**お子さまを深く座らせ**、車両シートベルトを引き出して、

① 車両腰ベルトを左右のアームレスト下側の腰ベルト通し部に通す。

② 『カチッ』と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。

* 車両腰ベルトは、必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにし、腰部に密着させる。



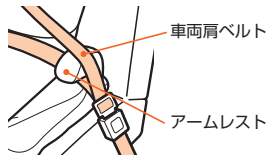
① 腰ベルト通し部

② 差込金具 車両バックル



● 身長が 130cm 以上のお子さまを座らせたとき、車両肩ベルトが肩からはずれそうになる場合は、車両肩ベルトをアームレストの上側（外側）に通して使用してください。

※ご不明な点は、当社のコンシューマーブラザへお問い合わせください。



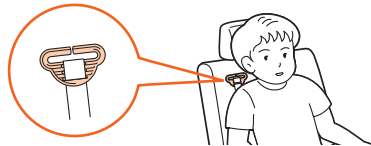
*必ずベルトポジショナーを使用してください。(58 ページ参照)

ブースターモード (体重 22kg 以上～ 36kg 以下、身長 125 ～ 145cm) つづく ➡

ベルトポジショナーの調節のしかた

お子さまを深く座らせ、肩の高さにあわせてベルトポジショナーの長さを調節します。

*ベルトポジショナーは座面のクッションの下に収納されています。(P49 参照)



ベルトポジショナーの正しい位置

図のように、ベルトポジショナーを肩と同じ高さになるように調節し、車両シートベルトをお子さまの体に合わせる。



●ベルトポジショナーは車両肩ベルトがお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまが成長し、ベルトポジショナーが低くなったときには、高さを調節しなおしてください。

長くする場合

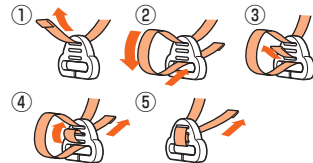


短くする場合



ベルトの通しかた

ベルトがはずれてしまった場合は、図のようにベルトを通す。



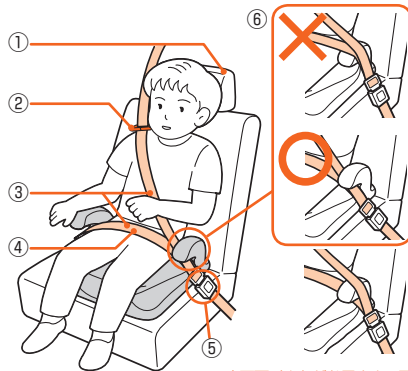
ブースターモードの完了チェックのしかた

ブースターモードの完了チェックのしかた

お子さまを座らせ、車両シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。

- ① 車の車両ヘッドレストが取り付けられていること。
- ② 車両肩ベルトがベルトポジショナーを通り、お子さまの首を圧迫していないこと。また、肩からはずれていないこと。
- ③ 車両シートベルトがお子さまの体に密着していて、ねじれやたるみがないこと。
- ④ 車両腰ベルトがお子さまの腰骨を押さえていること。
- ⑤ 車両シートベルトの差込金具が車両バックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
- ⑥ 車両肩ベルト・車両腰ベルトが左右のアームレスト下側の腰ベルト通し部を通っていること。

※ 身長が130cm以上のお子さまを座せたととき、車両肩ベルトが肩からはずれそうになる場合は、57ページのワンポイントを参照してください。
※ ご不明な点は、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



※ 車両肩ベルトがお子さまの肩からはずれそうになる場合



● これらの項目をチェックし、正しい状態でない場合は、56～58ページの手順の必要なステップを、もう1度くり返してください。それでも正しい状態にならない場合は、その座席では使用しないでください。本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

チャイルドモードへの戻しかた

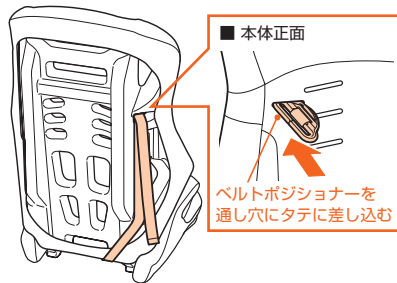


ベルトポジショナーの収納

チャイルドモード (P25) で使用する場合、ベルトポジショナーは使用しません。座面の収納部にベルトポジショナーを収納してください。

1 ジュニアモード (P41) の場合、ベルトポジショナーを背もたれから取りはずす。

■ 本体背面



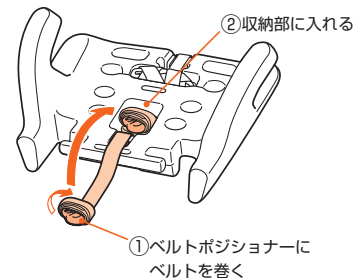
ワンポイント

● ベルトポジショナーの準備は、49ページを参照してください。

2 座面から背もたれを取りはずし (P20)、座面のシートカバーとクッションを取りはずす (P67)。

- ① ベルトポジショナーにベルトを巻き、
- ② 座面後側の収納部に入れる。

■ 座面後側



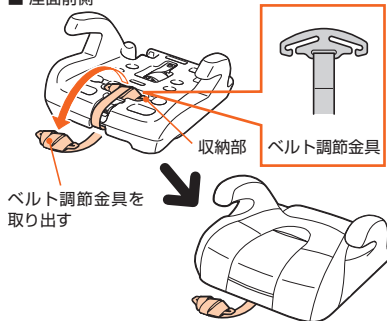
ベルト調節金具の取り付け

ジュニアモード (P41) やブースターモード (P55) から、チャイルドモード (P25) に戻す場合、座面に収納されたベルト調節金具を取り出し、座面底面部に取り付けます。

* 本体が不安定な状態になります。座面から背もたれを取りはずした状態で (P20)、作業をしてください。

- 1 座面のシートカバーとクッションを取りはずし (P67)、ベルト調節金具を取り出し、シートカバーとクッションをもとに戻す。

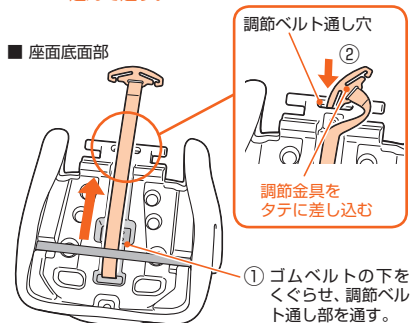
■ 座面前側



ワンポイント ● ベルト調節金具の取りはずしや座面への収納のしかたは、47 ページを参照してください。

- 2 調節ベルトがねじれないように、
① 座面底面部のゴムベルトの下をくぐらせ、調節ベルト通し部を通し、
② 調節金具を調節ベルト通し穴にタテに差し込んで通す。

■ 座面底面部



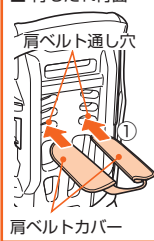
幼児ベルトの取り付け

チャイルドモード (P25) で使用する場合、背もたれに幼児ベルトを取り付けます。

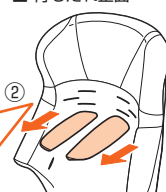
* 本体が不安定な状態になります。座面から背もたれを取りはずした状態で作業をしてください。

- 1 肩ベルトカバーを取り付ける。
① 肩ベルトカバーを適正な肩ベルト通し穴に、背もたれ背面から通す。
* 「お子さまにあわせた幼児肩ベルトの調節のしかた」 (P25) 参照。
② 背もたれ正面に引き出す。

■ 背もたれ背面



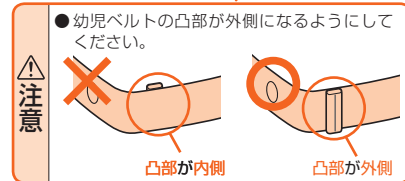
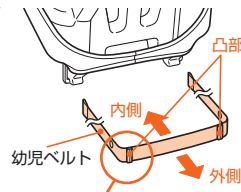
■ 背もたれ正面



ワンポイント ● 幼児ベルトの取りはずしは、42 ページを参照してください。

- 2 幼児ベルトを取り付ける向きを確認する。
幼児ベルトにねじれがなく、幼児ベルトの凸部が外側になるようにする。

■ 背もたれ背面



⚠ 注意

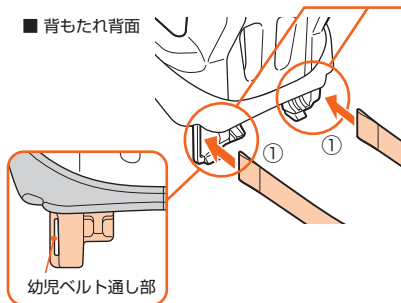
● 幼児ベルトの凸部が外側になるようにしてください。

凸部が内側

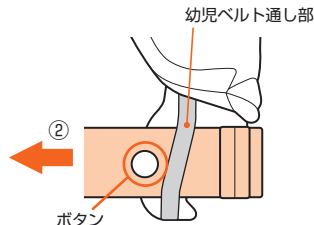
凸部が外側

- 3** 幼児ベルトを取り付ける。
幼児ベルトがねじれないように注意しながら、
 ① 背もたれ背面の左右の幼児ベルト通し部に
 片方ずつ通し、
 ② 幼児ベルトの**ボタンが幼児ベルト通し部を
 通るまで**、幼児ベルトを正面から引く。

■ 背もたれ背面

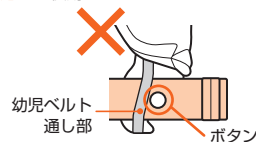


② 幼児ベルトを正面から引く



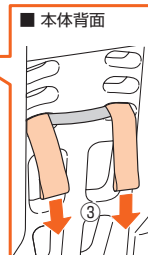
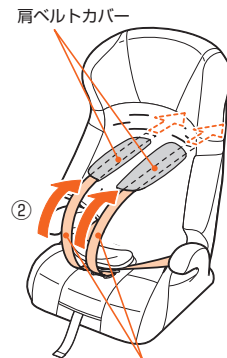
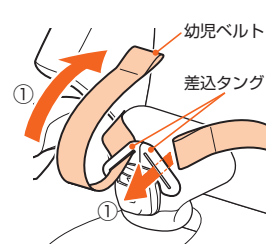
● ボタンが幼児ベルト通し部に通っていない
 状態では使用しないでください。

⚠ 注意



➡ ここからは、座面にバックル(P45)と背もたれを取り付けてから(P17)、
 作業を行います。

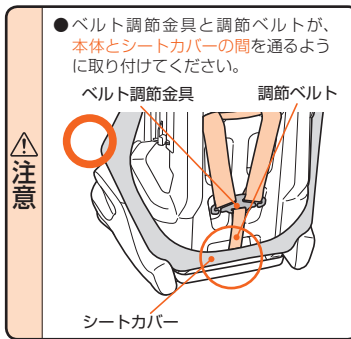
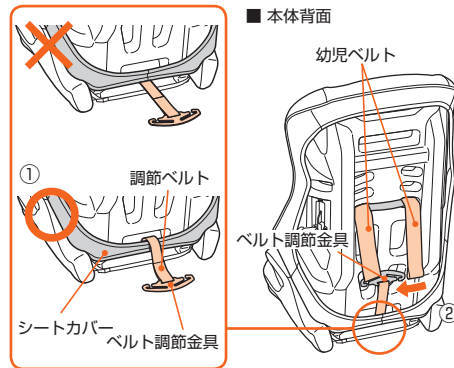
- 4** ① 左右の差込タンクに、**幼児ベルトがねじれないように**
 注意しながら通す。
 ② 肩ベルトカバーに幼児ベルトがねじれないように通し、
 ③ 本体背面に引き出す。



幼児ベルトをねじらないように通す

チャイルドモードへの戻しかた

- 5** 左右の幼児ベルトをベルト調節金具に取り付ける。
- ① ベルト調節金具と調節ベルトを、**本体とシートカバーの間**を通す。
 - ② 幼児ベルトをベルト調節金具に取り付ける。



お手入れのしかた

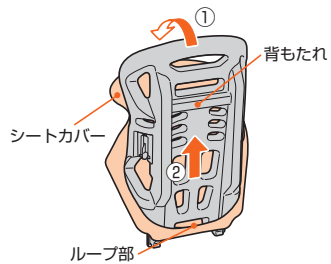
シートカバーなどの縫製品の取りはずしと取り付け

幼児ベルトの取りはずしと取り付け

「幼児ベルトの取りはずし」(P42)を参照。
「幼児ベルトの取り付け」(P62)を参照。

背もたれのシートカバーの取りはずし

- ① シートカバーの上部を背もたれからはずし、
- ② 背もたれをシートカバーから引き抜く。



ワンポイント

- 取り付けは、シートカバー下側のループ部に背もたれを通します。

* 取り付けは、取りはずしの逆の手順です。

背もたれのシートカバーの取り付け

お手入れのしかた

座面のシートカバーの取りはずし

あらかじめ、座面から背もたれを取りはずし(P20)、バックルを取りはずしてから(P45)、座面のシートカバーを取りはずします。

- ① 座面底面部のゴムベルトをはずし、
- ② シートカバーの前側を上をめくる。

- ③ 座面後側の袋状部分をはずし、

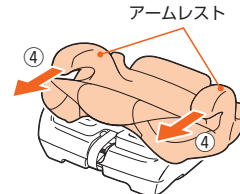
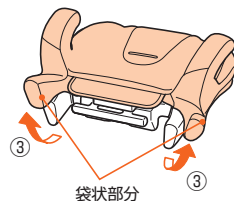
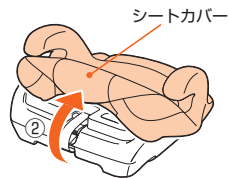
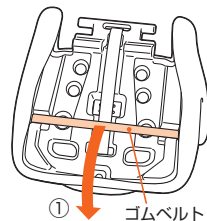
- ④ アームレストからシートカバーを取りはずす。

■ 座面底面部

■ 座面前側

■ 座面後側

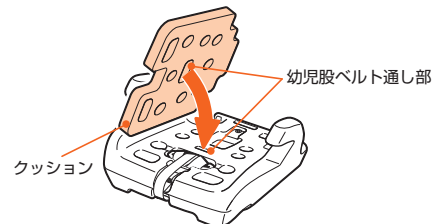
■ 座面前側



ワンポイント



● クッションは、幼児股ベルト通し部に位置をあわせ
ます。



お手入れのしかた

シートカバーなどの縫製品の洗いかた

洗濯時は次のことを守ってください。

- シートカバーに縫製されている洗濯ラベルに従い洗濯してください。
- 洗濯機をご使用の際は洗濯用ネットに入れて洗濯してください。ほつれや痛みの原因となります。
- 水、またはぬるま湯で洗濯機の弱水流または手洗いしてください。
- 漂白剤は使用しないでください。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。
蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。
- 横型洗濯機(洗濯槽が横、または斜めを向いている)をご使用の場合は、水量が少なくなりすぎないように注意してください。
- 製品の特性上、色あせすることがあります。
- 洗濯の際は、他の衣料品や色の薄いものと区別されることをおすすめします。
- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて陰干ししてください。
- アイロン掛けはしないでください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。

本体、幼児ベルトのお手入れ方法

通常は固くしぼった布で水拭きしてください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水拭きし、日陰で乾燥させてください。



- 中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。
本体および幼児ベルトをいためるおそれがあります。

保管のしかた / 廃棄のしかた

保管のしかた

本 体

長期間使用しないときは、車から降ろし、直射日光が当たらず風通しの良い、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、座面のシートカバー裏側のポケットに保管してください。(5 ページ参照)

ウレタンについて

シートカバーなどの縫製品の裏側のウレタンに染料が付着することがあります。品質上問題なく、安心してお使いいただけます。

廃棄のしかた

- お住まいの各自治体の規定にしたがい処分、廃棄してください。
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1 度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどの縫製品をはずして、廃棄してください。

製品を安全に、正しくお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。
下記のホームページをご覧ください。

<http://www.combi.co.jp/safetyinfo/index.html>

品質保証書 コンビ チャイルドシート

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書を
ご提示の上、当社コンシューマープラザ、または、お買い上げの販売
店にお問い合わせください。

製品名	ロットNo.	保証期間 お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
座面底面部のシールをご覧ください		
お客様	お名前	お買い上げ日 年 月 日
	ご住所 〒 TEL	
販売店	店 名 TEL	
	住 所	

修理メモ

保証規定

- 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
- 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において、万
一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの
上、当社コンシューマープラザにお送りください。
- 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
(a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
(b) シートカバーなど、縫製部品の傷や破れ。
(c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
(d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
(e) 本書に、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない
場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(f) 本書のご提示がない場合。
(g) 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合。
(h) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
- 衝突事故など、1度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致
しかねます。
- 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理
できないこともあります。
- お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただち
にご記入願います。
- 万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行
いたしませんので、大切に保管してください。
- 領収書(レシート)を本書と一緒に保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお
約束するものです。従ってこの保証書によって法律上の権利を制限す
るものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の
場合は、当社コンシューマープラザ、またはお買い上げの販売店にお問
い合わせください。
- 品質保証書にご記入いただいた個人情報、故障・修理の確認、修理品
の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

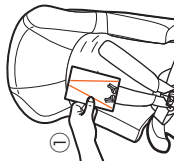
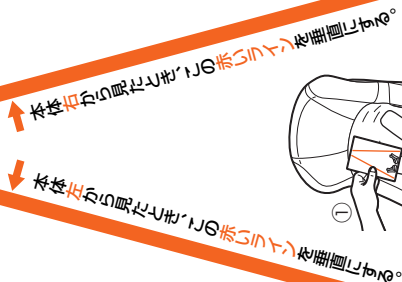
コンビの「バックシートカバー」を正しく取り付けよう

Combi

コンビ
ジョイントリップ
シリーズ

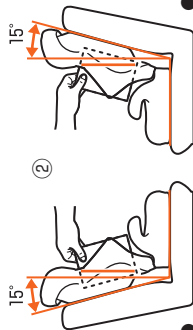
角度チェッカー

チャイルドモード(P25)、ジュニアモード(P41)で車に取り付けたときの、正しい角度の目安としてお使いください。



車の座席の背もたれがリクライニングできる場合、チャイルドモード、ジュニアモードでご使用のときは、本製品の背もたれを15°前後に傾けて取り付けます。

- ① 本書を背もたれのシートカバーにあわせま。
- ② 赤いラインが垂直になる、約15°の角度が取り付けの目安です。



● 本体右

● 本体左

コンビ株式会社

■ ホームページ www.combi.co.jp
■ オンラインショップ(部品購入窓口) shop.combi.co.jp

製品・部品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ(Customer Service Center)

受付時間：9:30～17:00(日祝日、年末年始を除く) 〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田 271

■ 総合受付(各種ご相談)窓口 製品に関するお問い合わせ / 修理のご依頼 / 各種ご相談 / その他 TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

■ 部品相談受付窓口 部品に関するお問い合わせ TEL. (048) 797-1001 FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ(Customer Service Center) / 西日本担当

受付時間：10:00～17:00(土日祝日、年末年始を除く) 〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町 2-4-16 TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

*コンシューマープラザホームページ www.combi.co.jp/soudan

169836020 17.10

このグレーのラインを「背もたれのシートカバー」にあわせる